

No.275

2023年
8月号

さくら

図書館だより



(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

《 展示のご案内 》

展示期間 8月24日(木)まで

★メイン展示

『夏休みに読んでほしい本』

毎日、暑い日が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今回の展示は、

- ・観察・実験・工作・自由研究
- ・平和を願う
- ・小説・物語

という3つのコーナーを用意しました。



●メイン展示図書(抜粋)

- 「100円グッズで完成!楽しい!」「コロコロ迷路」
- 「楽しくリサイクル!こども工作ワンダーランド」
- 「アウシュビッツからの手紙」「へいわとせんそう」
- 「夏休みに、ぼくが図書館で見つけたもの」

★サブ展示

『きょうりゅう』

こうち未来科学館からの出前ミュージアム『恐竜ボックス』も展示しています。

●サブ展示図書(抜粋)

- 「スーパービジュアル恐竜図鑑」「恐竜博物館」
- 「きょうりゅうーびきください」
- 「恐竜がかいた恐竜のほん」「けがをした恐竜」



夜の図書館 & ライブラリーコンサート

夜の図書館を開館し、あわせてライブラリーコンサートを開催します。

真夏の夜に、本を読みながら、音楽を聴いてみませんか。皆様のご来館をお待ちしています。

日時 8月26日(土)

・夜の図書館 18時~21時

・ライブラリーコンサート 19時~20時30分

場所 坂本図書館

出演者 イーゲルサクソアンサンブル

石崎友隆クインテット

入場料 無料

※18時以降の夜の図書館ではDVD等やパソコンの利用、図書利用カードの新規登録・再交付はできません。貸出返却については、自動貸出返却装置で対応できる本のみとなります。

読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

飼育員が教えるどうぶつの ディープな話

大淵 希郷 編・著
緑書房

動物園では、たくさんの種類の野生動物たちが暮らしています。図鑑やメディアで目にする動物が、間近に観察できるのも動物園の魅力の一つです。また動物たちを通して、自然環境に深く興味を持つことができ、訪れた人の記憶に残る場所でもあります。

そんな動物園の人気者51種の生態を楽しく解説。「子どもの頃に行ったきり…」という大人の方は、改めて違った視点で動物園が楽しめる一冊です。

(児童)

宿場町の日

いわた 慎二郎 作・絵
講談社

旅をすることが盛んになり始めた江戸時代、旅人が泊まる旅館を「はたご屋」、そしてそのはたご屋が集まった所を「宿場町」と呼んでいました。そんな旅人が行き交う宿場町の日を紹介する絵本。

どんな人が旅をしていたのでしょうか？その服装や持ち物は？はたご屋の部屋はどんなだった？お風呂やトイレは？宿代は？など江戸時代の旅に関する情報がいっぱい！

時代小説が好きな大人にもおすすめの1冊です。

(一般)

星合う夜の失せもの探し

森谷 明子 著
東京創元社

れんげ野原の中にある秋葉図書館には、名探偵ばりの司書がいる。そんな司書のもとへは様々な人が訪れ…。

クラスメイトから、ある疑いをかけられた同級生は、なぜ図書館へと通うのか。

(「聖樹」)

利用者の謎と心のしこりを本と共に解きほぐしていく他5編収録の、元司書の著者が描く、ほんわか図書館ミステリの第3弾！ぜひ、読んでみては、いかがでしょうか。

(児童)

ずかん自転車

森下 昌市郎 著
自転車文化センター 監修
技術評論社

自転車のはじまりは、機械だった?! 私たちの生活に身近な存在である自転車は、通勤通学の交通手段や、サイクリングなどの娯楽として多くの人が使うようになっていきます。

自転車の仕組みや、メンテナンス方法などが、たくさんの写真や図とともに紹介しています。自転車の可能性と楽しさをぜひ知ってください。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

ジェーン・エア

松澤まり子

『ジェーン・エア』を初めて読んだのは小学校高学年の頃だった。わたしには珍しく図書館で借りた本ではなく、当時あった笠木書店で買った新潮文庫の上下本だった。映画のジョーン・フォントインの表紙にひかれたのかもしれない。リンドグリーンやケストナーやロフティングなどを読んでいたわたしには非常にオトナの本だった。

それ以来、何度となく読み返した。何度も読み返す、という本が必ず人にはあると思う。何度読んでも何かしら発見があるものだ。何十年も同じ本を好きだということは幸せなことだ。あまりに好きすぎてBronte全集まで買った。

やはり作者が気になり調べたり、イギリスにいた時にはシャーロット・Bronteの住んでいた家まで行ってみた。イギリスの真ん中あたりの州に（ウエストヨークシャー州）ハワースという小さな村にBronte牧師館博物館があった。Bronte一家の住んでいた家は今は博物館になっているのだ。確か車でロンドンからリーズまで行き、そこからバスでハワースに向かった。もうずいぶん昔のことなのだが細かいことは覚えている。確か8月の暑い日だった。大月町出身の方で留学前に宿毛市で知り合ったMさんという女性が同じ頃イギリス留学をしていて、その方とロンドンで待ち合わせて博物館に行った。彼女はわたしのいたイーストサセックス州とは違うどこかで（もうすでに場所は忘れた）、語学学校か何かに通っていて、留学前に同郷ということいろいろな話をした覚えがある。現在は埼玉辺りに住んでいてクリスマス頃に葉書が届く。Mさんは敬虔なクリスチャンだ。MさんもまたBronte姉妹に興味があったのだろうと思うから、8月の休暇の時に行ってみようという話になったのだろうと思う。まあとにかく何とかハワースまで行き、牧師館を訪ねた。シャーロット・Bronteは牧師の父を持ち牧師館で育ったのだ。「嵐が丘」を書いたシャーロットの妹のエミリー・Bronteも。シャーロットは6人兄弟姉妹の中のひとりだった。

牧師館の横には綺麗なステンドグラスのこじんまりとした教会があって墓地もあり少々寂しい印象を受けた。博物館には姉妹たちの机や椅子などが展示してあった。驚いたのは小さい、ということだった。部屋もさることながら全てが質素で小さな印象を受けた。こんな小さな部屋で彼女たちは後世に残る文章を書いたのだということに驚愕した。Bronte Parsonage MUSEUMのサイトで見ると、当時わたしが見たであろう書斎などを見ることが出来る。主にダイニングルームでシャーロットとエミリー、アンの姉妹は「ジェーン・エア」や「嵐が丘」や「アグネス・グレイ」を書いたら

しい。ダイニングルームで！すごいと思う。彼女たちの想像力は小さな部屋の中から、こころの扉が開かれて彼女たちの想像力は窓の外のムーア（荒野）の上を羽ばたかせて遠くに遠くに飛んでいき、小さな島国のわたしのいるところまで届いたのだ。

博物館にはスーベニアショップもあり、ちゃんと日本語の博物館の解説本なども売っていた。ちょうど日本人観光客も数人いた。ショップでおしゃべりした日本の女性の方はガイドをしているとおっしゃっていた。どうやらバスツアーで来られたようで車でないと不便な場所なのだった。広大な大荒野の中の小さな村でBronte姉妹は何かを求め形にしていた。

小説の半ば、ジェーンが荒野をさまよう場面が好きだ。無一文で着の身着のまま、ムーアの中に身を潜めてこれからどうしようと思悩む。だがそれから彼女はまた自立への道を歩み始めるのだ。

「ヒースの草に触ってみると、それは乾いていて夏の日の温かさをまだ残していた。空を見上げると一片の雲もない。岩壁の真上に星が一つやさしくまたたいている。露がおりて来たが、そっといたわってくれるようだ。風はそよとも吹いていない。自然はやさしい味方になってくれるようだ。人間から見放されたわたしを愛してくれるらしい。」

（シャーロット・Bronte著 小池 滋訳 Bronte全集 2『ジェーン・エア』369頁（みすず書房、1995年））

※『ジェーン・エア』と『ジェイン・エア』が混在しています。訳本により、表記が異なるためです。



宿毛の8月の空

～新着図書のご紹介～

一般図書



- 0 「88歳、しあわせデジタル生活」 若宮正子
- 1 「100年先も大切にしたい日本の伝えばなし」 桜井識子
- 2 「フィンランドが教えてくれた100の大切なこと」 島塚絵里
- 3 「反抗期まるごと解決BOOK」 親野智可等
- 4 「認知症ってそもそも何ですか？」 朝田隆
- 5 「60歳からの「紙モノ」整理」 渡部亜矢
- 6 「ラジオと戦争」 大森淳郎
- 7 「静夫さんと僕」 埴宣之
- 9 「図書館のお夜食」 原田ひ香

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「こども調べ方教室」 茂木秀昭
- 「トルコのゼーラおばあさん、メッカへ行く」 新藤悦子
- 「マンガで楽しく読める星座と神話」 甲谷保和
- 「産婦人科医宋美玄先生の女の子の体一生ブック」 宋美玄
- 「イチからつくるラーメン」 奥村彪生
- 「わたしのスカート」 安井 清子
- 「ゆうすげ村の紙すき屋さん」 茂市久美子

絵本



- 「どすこいすしずもう やさいばたけでおおあばれ！」 アンマサコ
- 「ねこのゆめ」 荒井良二
- 「ぼくのいぬはどうしてこんなにかわいいのか」 しゅん
- 「バスにのって」 かしわらあきお
- 「しゅつどう！かがくしょうぼうたい」
- 鎌田歩
- 「おなかのなかのあかちゃんへ」 こがようこ
- 「そらまめくんのありがとう」 なかやみわ
- 「あっちむいてほい」 中村征夫
- 「どっとこむしずかん」 中村至男
- 「ぎょうれつのできるアイスクリームかきごおりやさん」 ふくざわゆみこ
- 「じめんのしたはマンモスのくに」 まつおかたつひで



★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、新着図書一覧が検索
 できますので、そちらもぜひご覧ください。

【新着図書一覧検索】

祝日開館のお知らせ

令和4年度より祝日開館をしている坂本図書館では、**9月18日(月・祝)**も**開館**します。
 その代わりに翌日**9月19日(火)**は**休館**となりますのでご注意ください。

8月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日・祝 10:00～18:00
 ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp

■は休館日



【図書館HP】

